

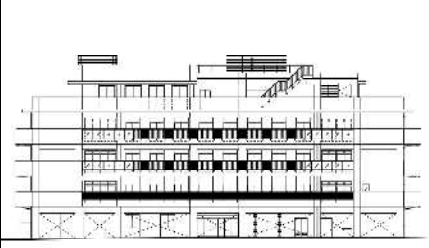
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	特別養護老人ホームかまくら愛の郷移転新築工事	階数	地上5F
建設地	鎌倉市岡本字耕地1022番32	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	130人
気候区分		年間使用時間	6,000時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年7月 予定	評価の実施日	2014年7月2日
敷地面積	3,308 m ²	作成者	㈱内藤建築事務所
建築面積	1,778 m ²	確認日	2014年7月3日
延床面積	6,862 m ²	確認者	㈱内藤建築事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 2
LR1 エネルギー: 1
LR2 資源・マテリアル: 1
LR3 敷地外環境: 1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合 居室は全て個室、有効面積は11.5m ² 以上と設置基準に対して余裕のある広さを確保した。また、建物内に光庭を数か所設け、自然光が建物内部へも差し込むような、快適性・居住性への配慮を行った。		0
Q1 室内環境 居室の窓は複層ガラスとし、断熱および外部からの遮音対策とした。 また、F を全面に採用することにより、空気環境に配慮した。	Q2 サービス性能 耐久性の高い材料を選定し、更新間隔が長くなるよう配慮した。 自家発電設備の採用や、可能な限り配管を区分するなど信頼性に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地やデッキテラスを設けることにより、良好な景観を形成した。
LR1 エネルギー 断熱材を強化し、建物の熱負荷抑制に考慮した。 高効率照明器具を採用し、設備システムの高効率化を図った。	LR2 資源・マテリアル 節水機器、節水型便器を採用し、水資源の保護に配慮した。 躯体と仕上材、設備が容易に分別できるよう計画した。	LR3 敷地外環境 駐車場を適切に配置することにより、交通負荷抑制に配慮した。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 'ライフサイクルCO₂'とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される